

『INCHの楽しい仲間たち』 vol.2

キャンプを行う時は事前準備と後片付けもあります。スタッフの皆さんには、「前日入り」「後日帰り」ということで協力してもらっています。ここ数年、最も出席率の良い学生さんを紹介しつづけます。あ、ちなみに一番滞在日数が長いのはいつもどおり、佐々木正久さんですよ♪

「ヒッチハイクって親指立てて道路の脇でひたすら待つてるやつでしょ？」…実は違うんです！

今時のヒッチハイクはそんな消極的な態度じゃやっていけない！というわけで、

《実録！イマドキのヒッチハイク！》

はい、ばちばちぱち～。今時のヒッチハイク事情をお送りします、佐藤圭です。

僕は東京工業大学の大学3年生(3月現在)で、2010年に自然文化誌研究会(以下、INCH)の『むらまつりキャンプ』に、初めてスタッフとして参加しまして、それ以降、主に子どものためのキャンプのスタッフをやらせていただいています。

僕の趣味の一つにヒッチハイクというのがありましてです。去年、2011年の『まふゆのキャンプ』のときに、集合場所までヒッチハイクで行って、ヒッチハイクで帰る、ということをしてしましたら、事務局長の黒澤さんが、おもしろい！ちょっと書いてみる！と。いうことで、今回は、今時のヒッチハイクのやり方、というのを少しご紹介させていただきたいと思っています。



ヒッチハイクといえば、あのポーズ。分かりますよね？そう、親指立てて、アメリカのまっすぐ続く道路の脇で、通り過ぎる車が停まってくれる事を延々と待っている。ちょっと日本じゃできなさそう。そんなイメージありませんか？違うんです！日本でできます！親指立てません！「でも、すごい時間かかるんでしょ？」

大体の目安ですが、僕の自宅からだ東京～名古屋は車で約5時間かかるのですが、僕は6時間で行きました。一体どうやったのか。その方法はいたって簡単です。

【準備するもの】ダンボール、マジック、懐中電灯

具体的には、こうです。まず、スーパーかコンビニに行って「ダンボールありませんか？」と訪ねて、ダンボールをもらいます。次に、ダンボールを手頃な大きさにして、マジックでこう書きます。

「ヒッチハイク！」

僕はヒッチハイクをしているんですよ。ということさえ分かればいいんです！あと、お好みで「ちょっとだけでもOK」とか、「寒いです」とか(笑)。

普通、「海老名SA」とか、「名古屋方面」とか、行き先を書くことを一般的に想像されるかと思いますが、東京の一般道(高速道路じゃない普通の道)を走っている車の中にピンポイントで名古屋に行く車なんて、ほとんどありません。そんな人に名古屋方面と書いたダンボールを見せても、「自分は名古屋には行かないから」となります。もしかしたらその中には、「方向さえ合っていれば、ヒッチハイカーが来たら乗せてやる！」という人もいるかもしれません。そういう人が、「ヒッチハイク！」と書いているダンボールを見たら、「あ、じゃあとりあえず乗せてみようかな」となるわけですよ。

だから、ヒッチハイクをしている、ということが分かる内容だったならなんでもいいです！「乗せて下さい！」とか、「この道まっすぐ」とか(笑)

ところで、そのダンボールを持って、なにをするんですか？

ひたすら道路の脇で待っている。じゃないんですよ！

一般道の場合、車が赤信号で停まりますね。そしたら停まっている車に突撃訪問します！車の窓をコンコンと叩いて、運転手さんと目を合わせて、ダンボールを見せて、いい人そうな感じを出します(笑)

(笑)とか言ってますけど、ここが一番大事なところですよ！

「お、ちょっとおもしろそうな子だな」と思われる事。それがヒッチハイクのコツです！基本は笑顔です。笑顔さえできれば、大体大丈夫です。あとは身振りなり手振りなりオリジナリティを発揮しちゃって下さい。

ね、簡単でしょ？とまでは言わないですけど、これで現実的に日本でヒッチハイクをすることができます！ちょっとおもしろいそうだなと思ったら、ぜひやってみて下さい。おもしろそう、じゃないんです。おもしろいんです！